

信州大学医学部附属病院 脳神経外科および関連施設に
過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2020年9月15日

「ヘモクロン®シングニチャーエリートの異なるカートリッジによって測定した ACT 値」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4871
研究課題名	ヘモクロン®シングニチャーエリート
所属(診療科等)	脳神経外科
研究責任者(職名)	小山淳一(脳血管内治療センター長)
研究実施期間	倫理委員会承認日~2020年10月5日
研究の意義、目的	ヘモクロン®シングニチャーエリートを用いた ACT 値(全凝固時間)はカートリッジ間で実際に異なるのか検証する研究で、脳血管内治療において、術中の目標 ACT 値の設定とヘパリン投与量の決定を行う際に有用な臨床知見となります。
対象となる患者さん	2018年5月から2018年12月の期間に信州大学医学部附属病院、諏訪赤十字病院、安曇野赤十字病院、小林脳神経外科病院で脳血管内治療を受けられた方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果など
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、各カートリッジ間における ACT 値の相違について統計処理を行い検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 鈴木 陽太・信州大学脳神経外科 助教 電話:0263-37-2690

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。